

※この洪水ハザードマップは着色した河川区間の浸水想定区域を示しています。

5-7. 洪水ハザードマップ（東除川・大雨特別警報の発表が予想されるとき）

洪水ハザードマップ（東除川）について

このマップは、想定し得る最大規模の大雨（24時間総雨量904.1mm、1時間最大雨量102.5mm）が降った場合を想定したものです。（令和元年11月大阪府）マップで示した場所以外でも浸水が発生する可能性があります。雨の降り方などに十分注意しましょう。



大洪水に注意！早めに避難を！

これまで経験したことがない大雨が長い時間続き、大雨警報が発表される基準をはるかに超え、命に関わる大災害が広い範囲で起きることが想定される状況です。

気象庁より大雨特別警報の発表が予想されるときは、1日前など早くからテレビなどで何度も取り上げられます。



堺市では、浸水が想定される範囲の方々に避難指示などを発令します。

※ただし、突然の特別警報発表となる場合もあるため、早め早めの避難行動を心がけてください。

想定される浸水の深さと被害イメージ

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上浸水～2階軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上浸水～1階軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

河川の近くは、水の流れて地面が削られ、崩れるおそれがあります。早期に河川から離れた場所に避難することを心掛けましょう。

凡例

- 避難所（風水害・地震）
- 市役所・区役所等
- 水位観測所
- 主な河川・海
- 有料道路
- 主要道路
- 市境界線
- 区境界線

